

当院で内視鏡検査治療を受けられる方へ

～当院は患者さんの診療向上のための調査・研究に参加しています～

《課題名》

「消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築（多施設共同 前向き観察研究）」

《対象となる方》

当院において内視鏡検査・治療を受けられた方

当院は日本消化器内視鏡学会から、内視鏡診療の中心的役割を担う施設として「日本消化器内視鏡学会指導施設」に指定されており、日々その役割を果たすべく全力で取り組んでおります。

このたび当院は「消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築（多施設共同 前向き観察研究）」に参加することとなりました。この調査・研究によりみなさまにとってより良い内視鏡診療を行うにあたって必要不可欠な情報が得られますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって調査・研究に関する事項を公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。この調査・研究への参加（情報提供）を希望されない場合は検査前にスタッフにお申し出ください。なお、調査・研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究は、日本消化器内視鏡学会内に設けられた Japan Endoscopy Database (JED) Project 委員会が主導となり企画された調査・研究です。日本全国の消化器内視鏡検査および治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すプロジェクトです。この様な内視鏡関連手技の全国規模の情報集積は初めてのこころみであり、患者側だけでなく、医療を提供する側にも大きな利益をもたらすものと考えています。

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

研究にあたっては、個人を特定できないように個人情報情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

（研究の方法について）

内視鏡部門システムから別途定める項目を抽出し、匿名化された状態で日本消化器内視鏡学会本部に設置したサーバ内に格納しデータベースを構築し、各種分析を行う。研究期間は 2015 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日です。

② 利用し、又は提供する情報の項目

検査日、年齢、性別、抗血栓薬の有無、喫煙歴ならびに喫煙の有無、飲酒歴および飲酒状況、悪性腫瘍、家族歴、他臓器癌既往歴、ヘリコバクター・ピロリ感染状態、検査目的、鎮痙剤使用状況、鎮静・鎮痛・麻酔に関する事項、内視鏡の挿入経路、使用スコープ情報、送気の種類、特殊観察法、手技開始・終了時間、偶発症、実施医師名、内視鏡看護師・技師名、腹部手術歴、生涯大腸内視鏡歴、挿管難易度、胆管へのアプローチ方法、など

問い合わせ先

統括責任者：日本消化器内視鏡学会 Japan Endoscopy Database (JED) Project 委員会 委員長 田中 聖人

当院：電話番号 043-251-5311、内線 2861、国立千葉医療センター内視鏡室、連絡担当者：消化器科 阿部朝美、

研究責任者：内視鏡室長 消化器科 伊藤健治

研究主任施設：電話番号 03-3525-4670、日本消化器内視鏡学会事務局・Japan Endoscopy Database (JED) Project 委員会